

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2002-509415(P2002-509415A)

【公表日】平成14年3月26日(2002.3.26)

【出願番号】特願2000-540451(P2000-540451)

【国際特許分類】

H 03 L 7/081 (2006.01)

G 01 R 25/00 (2006.01)

【F I】

H 03 L 7/08 J

G 01 R 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月19日(2005.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1位相検波器と、

前記第1位相検波器の複製である第2位相検波器と、

前記第2位相検波器のフィードバックループに連結された位相シフタと、

前記第2位相検波器の出力と前記位相シフタの間に連結された増幅器とを備え、

前記位相シフタの出力は、前記第1位相検波器及び前記第2位相検波器の各々の入力に連結され、

前記第2位相検波器は、クロック信号と位相シフトによってシフトされた前記クロック信号の位相シフトとを受け入れ、

この位相シフトの量は、前記クロック信号と前記クロック信号の位相シフトとを比較することにより求められることを特徴とする自己補償型位相検波装置。

【請求項2】 第1クロック信号と位相シフトされた第1クロック信号とを第1位相検波器で比較する段階と、

前記第1クロック信号と前記位相シフトされた第1クロック信号とを比較した結果に基づき、前記第1クロック信号の位相シフトを調整する段階と、

前記第1位相検波器の複製である第2位相検波器において、前記位相シフトされた第1クロック信号を第2クロック信号と比較する段階とを含むことを特徴とする位相検波方法。

【請求項3】 第1クロック信号に応答してデータを転送するためのシリアルバスと、

前記シリアルバスに接続されたトランシーバとを備え、前記トランシーバは、第2クロック信号に応答するとともに、第1位相検波器、第2位相検波器、及び位相シフタを含み、前記第1位相検波器及び前記位相シフタは、負のフィードバックループに連絡され、前記クロック信号と前記クロック信号の位相シフトとの比較に基づいて前記静的位相エラーを補償するために前記第1クロック信号及び前記第2クロック信号の一方をシフトさせ、

位相シフタによる位相シフトの量は、上記の比較によって決定されることを特徴とする自己補償型位相検波装置。